



# 日本理学療法士連盟 NEWS

Vol.9

2020. 10. 20 発行



‘理学療法士の未来’を‘臨床力’と‘政治力’で創造する

日本理学療法士連盟事務局 〒106-0032 東京都港区六本木7-11-10

## 次期参院選組織内候補者 小川かつみ氏へ

日本理学療法士連盟(会長 半田一登)は、小川かつみ氏を次期参議院比例代表選挙の組織内候補者として推薦することを正式決定！

次期参議院比例代表選挙の組織内候補者について、9月27日に開催の第3回選考委員会において推薦された小川かつみ氏が、同日開催の臨時中央役員会で承認されました。

この結果を受け、10月9日に開催の都道府県理学療法士連盟会長会では、次期参議院議員選挙の組織内候補者として小川かつみ氏を推すと正式決定しました。

小川かつみ氏は当初、年齢等諸々の思いから再出馬につきまして推辞されておりましたが、全国の理学療法士からの要請に応え、最終的に受諾の決断をされました。今後は与党である自民党本部に公認申請する予定です。

### 小川かつみ氏 -プロフィール-

日本理学療法士連盟  
政策推進顧問  
日本理学療法士協会 理事  
参議院厚生労働委員会 理事



日本理学療法士連盟の組織内候補者として、第24回参院選比例代表選挙(2016年施行)に立候補。13万票余を獲得し初当選。現在も医療、介護、福祉、予防など、各分野において全国の理学療法士の声を反映するべく、国会で理学療法政策実現に向け尽力される。

### 政策実現へ向けた取り組み

- ハローワークの障害者雇用対策におけるトータルサポーターの任用要件に理学療法士を明記
- データヘルス改革分野「科学的介護・栄養等WG」をとりまとめ、骨太の方針2020策定へ貢献
- 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にて理学療法士の参画を強く推進

## 私の決断 - 理学療法(士)のために -

今回、次期参議院選挙における組織内候補として、日本理学療法士連盟に推薦されました、小川かつみです。

2016年に初当選以来、これまで丸4年間、理学療法士議員として政治活動に全力を注いで参りました。が、6年という任期の長さを考えると年齢や今後の自分の役割等を熟考し、次期選挙につきましては後進に道を譲る決意でおりました。

そのような中、全国の仲間の皆様より今までの活動に対する感謝の言葉に加え、今後へのさらなる期待等、たくさんの熱い願いを受けるに至って、これ以上固辞することが果たして選択すべき道なのかと迷いに迷った挙げ句、皆様とともにもう一度全力で戦う覚悟を決めさせていただいたところです。



加藤 前厚労大臣へ新型コロナウイルスに対し要望



菅義偉 内閣総理大臣とともに

これまでの参議院議員としてのたくさんの経験を基盤とし、2期目では更にそれを確固たるものとするべく、しっかり働く決意しております。まさにわが国のみならず世界のすべての在り方や仕組みが大きく変革を求められている真只中において、理学療法のさらなる発展、理学療法士の自己実現のために皆様とともに戦っていきたくと考えています。

また日本理学療法士連盟、日本理学療法士協会との機動的かつ効果的な連携をベースに、国民の皆様にも求められ、真に応えることのできる政策を具体化させる決意しております。皆様からの真摯かつ熱情に溢れるご意見が私の活動エネルギーとなります。私、小川かつみとより良い日本にしていきたいと思います。

参議院議員 小川かつみ



# 日本経済新聞(2020年8月10日)に記事掲載 「コロナ後遺症、入院中から始めて早期復帰」

日本経済新聞(以下、日経)に早期リハビリテーションに関する記事が掲載されましたが皆様はご存知ですか?障がい者に対する理学療法士の関わりで早期の社会復帰や重症化予防に繋がることへの認知度が低く、急性期の理学療法士の数も少ないという内容の記事です。

日本理学療法士協会(以下、協会)の調査では、約70%の高度急性期病院で人員不足を感じているが病院側にその理解が得られず増員できない状況のようです。我々は早期より介入することで予後が良くなること理解していますが、医師をはじめとした他職種にはその認識がないということになります。

新型コロナ感染患者に関してはもっと顕著です。290件の新型コロナ感染患者受け入れ医療施設で、理学療法の提供は、全国でたった75施設です。9月末時点で約1,600名が新型コロナ感染症で亡くなっています。我々が早期から関わることで救えた命がどれほどあるのかを考えると残念でなりません。

まずは多くの人にこのことを知ってもらうことが必要です。ただ「我々が早期から関わることで国民の皆さまにとって有益です」と声高に謳ってもなかなか聞いていただけないのが現状です。今回、注目度・影響力の大きい日経に取り上げられました。元プロ野球監督の梨田昌孝さんが新型コロナに感染しましたが、ICUで理学療法を受けられて良かったと仰っていることも紹介されています。今がアピールする絶好の機会なのです。

日本理学療法士連盟は協会とともに急性期での理学療法の重要性を広め、理学療法士が多くの患者様のために活躍できる体制作りをすべきだと考えています。既に、北海道・宮城県・茨城県・東京都では関係議員への説明や要望書の提出をしています。その他の府県でもアクションを起こしていただいております。中には非常に興味を示される国会議員もいらっしゃいます。この輪が広がれば、我々が急性期でより活躍できる日が来るのもそう遠い話ではないかもしれません。

日本理学療法士連盟のことを、選挙をするためだけの団体だと思っている方が多いように思いますが、協会が掲げる政策を実現するために必要な情報を関係議員に伝えること、話を聞いていただけるように日頃から関係作りをすることが大きな役割なのです。必要性をご理解いただけると幸いです。

組織局長 内藤貴司



## 都道府県理学療法士連盟の活動紹介 今できることから

日本理学療法士連盟ホームページでは、全国の理学療法士連盟の活動を紹介しています。是非、ご覧ください。コロナ禍でも歩みを続ける力強い活動が、我々を一歩先へ押し進めてくれます。

### 三重県理学療法士連盟の活動報告より (一部抜粋)

#### <事前ヒアリング(2020年8月17日)>

自由民主党三重県支部連合会に対し、理学療法士の更なる活用に関する要望書を提出しました。ヒアリングには、三重県理学療法士会 南出会長、高山相談役、三重県理学療法士連盟 高橋会長が出席し、県議会議員、国会議員秘書、県担当部署職員に対し、士会活動支援を中心に、下記5つの要望をおこないました。

1. 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」における医療専門職としての理学療法士配置
2. 「三重県リハビリテーション情報センター」の整備に関する財政支援
3. 県及び市町の介護保険事業計画・高齢者福祉計画に関わる会議への理学療法士の登用
4. 災害時等における閉じこもり症候群・災害関連死予防のため、人材育成・体制整備に係る財政支援
5. 健康経営に対する理学療法士の積極的な活用

#### <三重県議会 一般質問での答弁(2020年9月30日)>

三重県議会 一般質問で、自民党の小林正人県議(鈴鹿選挙区)に、理学療法士のさらなる活用について答弁いただきました。今回、理学療法士のさらなる活用や、三重県リハビリテーション情報センターについて質疑応答があり、県の方針を知る良い機会となりました。

これまで三重県議会では、理学療法士に関する討議はありませんでしたが、自民党職域支部の設立の影響は大きく、自民党県議の中でも理学療法士の団体に興味を持っていただける議員が多くなりました。

小川かつみ議員も推進くださっている「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」をはじめ、災害や感染症拡大における生活不活発病予防、急性期病院における早期理学療法、保健事業としての糖尿病・循環器疾患など疾病重症化の予防対策、フレイル対策や、運動・生活指導や労働環境への助言など、当県も実地での政策実現に向けて精力的に取り組んでいます。

理学療法士のさらなる活躍には、制度や施策と足並みを揃えていくことが重要となります。コロナ禍でも今できることから、歩みを進めてまいります。



※上写真は、三重県議会令和2年定例会中継より

\*編集後記\* 最後までお読みいただきありがとうございます。日頃より本連盟の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今号では、次期参議院選挙の組織内候補者決定についてご案内できました。前進ありきで、努力してまいります。今後も引き続きご支援くださいますよう、お願いいたします。 広報局長 谷口剛俊